

# 2017年1月1日～2020年7月31日の間に 当院において腹部MRI検査を受けられた方へ

## 「マルチパラメトリックMRIを用いた膵外分泌機能不全のリスク因子の解明」

### へのご協力をお願い

本研究の内容は、研究に参加される方の権利を守るため、研究を実施することの適否について川崎医科大学・同附属病院倫理委員会にて審査され、既に審議を受け、承認を得ています。また、学長と病院長の許可を得ています。

研究責任者	附属病院 放射線科(画像診断)	兼務シニアレジデント	外園 英光
研究分担者	放射線診断学	講師	神吉 昭彦
	放射線診断学	臨床助教	八十川 和哉
	放射線診断学	講師	檜垣 篤
	放射線診断学	講師	木戸 歩
	放射線診断学	講師	林田 稔
	放射線診断学	准教授	山本 亮
	放射線診断学	教授	玉田 勉

## 1. 研究の概要

膵外分泌機能不全の症状として、体重の減少、脂肪便(便に脂肪が混じる状態)、吸収不良に伴う栄養失調があります。現在の日本では日常診療において膵外分泌機能を評価する方法は、BT-PABA 試験(PFD 試験)のみですが、6時間の尿を溜める検査や一部の内服薬を中止する必要があり、十分におこなわれていないのが現状です。そのため、MRI検査により、膵外分泌機能不全のリスクが評価できれば、有用であると言えます。この研究の目的は、MRI検査から得られる様々な数値からMRI検査で膵外分泌機能不全のリスク因子を解明することを目指します。

## 2. 研究の方法

### 1) 研究対象者

2017年1月1日～2020年7月31日の間に川崎医科大学附属病院において腹部MRIの検査を受けられた方を研究対象とします。

### 2) 研究期間

倫理委員会承認日～2022年7月31日

### 3) 研究方法

2017年1月1日～2020年7月31日の間に当院において腹部MRIの検査を受けられた方で、研究者が診療情報をもとに膵臓のデータを選び、MRI画像所見に関する分析を行い、膵外分泌機能不全の危険因子について調べます。

### 4) 使用する試料・情報の種類

情報：年齢、性別、身長、体重、病歴、MRIデータ等

### 5) 試料・情報の保存及び二次利用

この研究に使用した情報は、研究の中止または論文等の発表から5年間、川崎医科大学放射線診断学医局内で保存させていただきます。電子情報の場合はパスワード等で制御されたコンピューターに保存し、その他の情報は施錠可能な保管庫に保存します。なお、保存した情報を用いて新たな研究を行う際は、倫理委員会にて承認を得ます。

### 6) 研究計画書および個人情報の開示

あなたのご希望があれば、個人情報の保護や研究の独創性の確保に支障がない範囲内で、この研究計画の資料等を閲覧または入手することができますので、お申し出ください。

また、この研究における個人情報の開示は、あなたが希望される場合にのみ行います。あなたの同意により、ご家族等（父母（親権者）、配偶者、成人の子又は兄弟姉妹等、後見人、保佐人）を交えてお知らせすることもできます。内容についておわかりになりにくい点がありましたら、遠慮なく担当者にお尋ねください。

この研究は氏名、生年月日などのあなたを直ちに特定できるデータをわからない形にして、学会や論文で発表しますので、ご了解ください。

この研究にご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。また、あなたの試料・情報が研究に使用されることについて、あなたもしくは代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、2022年4月30日までの間に、下記の連絡先までお申し出ください。この場合も診療など病院サービスにおいて患者さんに不利益が生じることはありません。

#### <お問い合わせ・連絡先>

川崎医科大学附属病院 放射線科(画像診断)

氏名：外園 英光

電話：086-462-1111 内線 44144（平日：8時30分～17時00分）

ファックス：086-464-1123

E-mail：sotozono@med.kawasaki-m.ac.jp

### 3. 資金と利益相反

この研究は、学内研究費を用いて行われる予定です。

本研究に関する利益相反の有無および内容について、川崎医科大学利益相反委員会に申告し、適正に管理されています。